

【京築教育事務所】

事業報告

「平成29年度学校・家庭・地域連携研修会」

期 日 平成29年8月23日（水）

参加者 70名

日程・内容

時 間	内 容
13:40～14:00	受 付
14:00～14:10	開会行事
14:10～14:50	実践発表 「地域全体で子どもを育む蓑島小学校の取組（仮） ～コミュニティ・スクールの推進をとおして～」 行橋市立蓑島小学校 校長 斉藤 隆也 氏 豊前市立宇島小学校 教頭 志農 英幸 氏
14:50～15:00	準 備
15:00～16:30	講 演 「学校・家庭・地域による連携・協働の共育活動」 文部科学省コミュニティ・スクールマイスター 学校と地域の融合教育研究会副会長 秋津コミュニティ顧問 岸 裕司 氏
16:30～16:40	閉会行事

研修の実際

（1） 実践発表

実践発表では、行橋市でいち早くコミュニティ・スクールを導入した当時の教頭、志農英幸氏と、現校長の斉藤隆也氏に、導入までの経緯と、その後の取組を中心に発表していただいた。京築地区では、コミュニティ・スクールを今後導入する予定の市町が多いので大変参考になる実践を聞くことができた。

参加者の方からは「各校の実践を知ることは、大変参考になりました。自校に持ちかえり、地域の特性を生かした取組みにしなければ



ればならないと思いました。」

「地域の人とつながることで、いろいろ可能性がひろがっていくことを感じる事ができました。元気と勇気をいただきました。」「発表された先生のような方々が学校側のコーディネートをし、地域コーディネーターと連携・協働してCSを推進していけるように体制づくりが大切だと思いました。」などの声が寄せられた。

(2) 講演

文部科学省CSマイスターの岸裕司先生をお招きして、「学校・家庭・地域による連携・協働の共有活動」と題して講演をしていただいた。ご自身が顧問をされている秋津コミュニティの実践を中心に、前半の実践発表も価値付けしていただきながら、学校・家庭・地域による連携・協働の進め方をお話ししていただいた。



参加した方からも「融合は意図的に重ねる。双方のメリットがあるものが長続きできるとの考えがよくわかりました。」「地域の立場からのCSの立ち上げの住民の熱意が伝わりました。具体例や有効性がわかりやすく聞けて大変よかったです。これからの活動の具体的な見通しがもてました。」「コミュニティ・スクールの取組が始まったばかりで、どう進めていくか手探り状態だったが、多くの手がかりを示していただけてありがたかったです。」といった多くの感想をいただいた。

全体を通して

同じ京築管内の身近な実践例を聞くことは、これから取り組む学校・地域にとって大変参考になった。また、学校関係者と運営協議会関係者（地域の方）の両方の参加を呼びかけたことで、CSのイメージ像を共有することができたようでした。岸先生の講演は、学校側と地域側の両方の視点の内容だったため、協働の体制をつくる意義が参加者によく伝わったようです。